

## 操作方法

1. センサー、ロガーを箱から取り出し、センサーにケーブルを接続します。ケーブルの赤は NIR に、もう一方は PAR に接続します。センサーのキャップを外します。
2. グリップは任意の角度に調整できますので、使いやすい方向へ固定してください。
3. ロガーのスライドスイッチを SET に設定します。何も操作を行わない時間が 60 秒経過すると自動で表示が消えます がいずれかのボタンを押すと再起動します。
4. 計測は ENTER ボタンを長押し、ロガーがその操作を受け付けると SAMPLE の LED が点灯、同時にディスプレイに MEASURE を表示します。これで計測は完了し、データは保存されます。
5. ENTER ボタンを長押しではなく瞬間的に押すと 1 番の値、2 番の値、3 番の値、P の値を切り替えて表示します。1 番 は LAI の値、2 番は NIR の値、3 番は PAR の値、P は内蔵電池の電圧を示しています。
6. 計測が終わるときはスライドスイッチを OFF に設定します。ケーブルを外し、キャップを付けて収納します。
7. データ回収の方法 データの回収は以下の 2 通りから選んでいただけます。

### USB メモリーを使う場合

1. スライドスイッチを SET もしくは MEAS の位置にして、お手持ちの USB メモリーを左側面に刺してください
2. COPY ボタンを押してください。USB メモリーにデータを回収できます。このとき USB メモリー内に数多くのファイルが存在している場合、ロガーがタイムアウトと判断することがあるので、なるべくファイルが少ない状態にしてください。

### USB ケーブルを使って PC に直接データ回収する場合

1. [www.mcs-fs.com](http://www.mcs-fs.com) からロガーソフト for FT シリーズをダウンロードしてお使いの PC へインストールしてください。
2. 付属の USB ケーブルを使って PC へ接続します。ソフトを立ち上げます。
3. 接続メニュー → データ回収で完了します。

8. データ消去の方法 基本的にはデータ回収後にデータの消去を行いますが、行わなくてもデータは 125,000 回の測定まで記録できますから、任意に判断してください。

1. スライドスイッチを SET に、ENTER を押します。
2. 上下どちらかの矢印キーを繰り返し押すと Data Clr の表示が出ますので、そこで ENTER を押します。
3. ↑ ボタンで消去の実行、↓ ボタンで消去のキャンセルとなります。

9. その他詳細設定> ロガーの詳細は付属の「FtJr 取扱説明書」を参照してください。「ロガーソフト for FT シリーズ」の詳細は「ロガーソフト for FT シリーズ操作説明書」をダウンロードして参照してください。

#### 10. 参考文献

Kume et al.(2010) 九州大学演習林研究発表会「林床設置型 LAI センサーの開発」

Kume et al.(2011)JPlant Res124:99\_106.

Kume et al.(2013)森をはかる 68:39\_40.